

重要文化財栄福寺薬師堂のしおり

20200721

公益財団法人文化財建造物保存技術協会

1. 栄福寺薬師堂概略

・建てられた年代

文明4年（1472）現在より548年前

・規模と形式

桁行三間（5.472m）、梁間三間（5.472m）

一重、寄棟造、向拝一間、茅葺

附 厨子 一基

一間厨子、入母屋造、本瓦形板葺

棟札 一枚

文明二二年壬辰二月廿三日の記がある



昭和44年修理後

・現在までの歴史的概略

寛政元年（1789）一厨子彩色塗替、畳10畳敷

名主：和田八右衛門、組頭：鈴木五郎左衛門、百姓代：秋山伝蔵

文化13年（1816）一縁廻り改修

元治2年（1865）一軒廻り・小屋組全面改修

名主：和田八右衛門、組頭：鈴木五郎衛・秋山清右衛門

百姓代：同定右衛門

大正3年（1914）一屋根葺替

昭和24年（1949）一屋根葺替

昭和29年（1954）一重要文化財指定

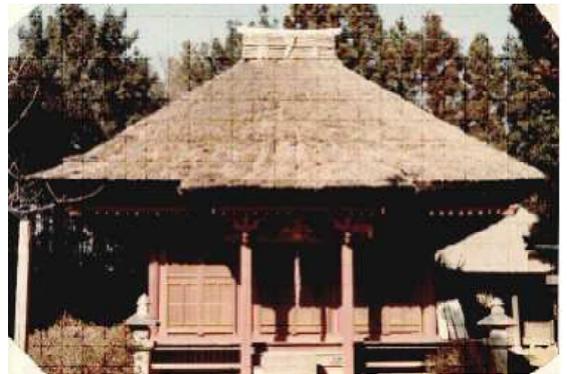
昭和44年（1969）一解体修理竣工

昭和56年（1980）一屋根・彩色・防災施設修理

平成8年（1996）一屋根・彩色修理

平成21年（2009）一屋根修理

令和2年（2020）一屋根修理



昭和56年修理前

2. 重要文化財指定後の国庫補助事業修理の内容

昭和44年根本修理

軒廻り・向拝は修理前のまま、柱間装置や縁廻り等を復原整備、内部は当初に復旧

昭和56年度一屋根・塗装・警報設備工事一

屋根工事一軒付上層（杉皮より上か）・平葺・大棟葺直し（野茅＝島茅）

塗装工事－外部弁柄塗部分（建具を除く）塗直し、建具古色補修、向拝彩色塗直し、内部天井絵剥落止

防災工事－自動火災報知設備の受信機を鐘楼より新庫裡に移動、薬師堂外部及び縁下空気管取替、床下にも空気管設置、薬師堂内部・総代宅の電鈴を交流式から直流式に取替、高音質のサイレンを新庫裡東側面に増設

※薬師堂北側高木有り

平成8年度以前部分的に差茅（全面杉皮差込）修理が行われた

平成8年度屋根・塗装工事

屋根工事－軒付一部、平葺（全面杉皮差込）・大棟葺直し（野茅＝島茅）

建具工事－西側面板戸修理（賊が侵入し破損した）

塗装工事－外陣天井絵剥落止

※薬師堂北側高木有り

平成21年度屋根工事

屋根工事－平葺全面差茅（野茅＝島茅、仕様書では山茅となっている）

※薬師堂北側高木有り

令和元年度屋根工事（災害復旧）

屋根工事－軒付杉皮上全面、杉皮下4m葺替、平葺（向拝谷部分杉皮差込）・大棟葺直し（山茅）

※薬師堂北側高木なし（茅葺屋根にとって周囲環境向上）



昭和 56 年修理後



平成 8 年修理後



平成 21 年修理後



平成 8 年修理前



平成 21 年修理前



令和 2 年修理前